

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	民生児童委員活動事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	会計	一般会計	事業コード	440202	決算付属資料	112	頁
	施策体系	施策コード	050202	施策名	福祉関係団体との連携を強化する									
	開始年度	平成28年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	民生委員法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	民生児童委員は地域住民の抱える悩みごとや地域で発見した課題を解決するために、行政への働きかけ、専門機関の紹介、必要なサービスの紹介や連絡などの役割を果たしていただくとともに、誰もが安心して住み続けられる地域づくりのために、地域住民や関係機関・団体と連携、協力して地域の絆づくりを進め、地域福祉の充実のための取組を進めていただいている。市は、それぞれの地域で先頭に立って住民福祉を担う民生児童委員の活動をサポートし、昨今の複雑化・多様化する福祉問題について、行政施策の情報提供を行い、また研修会を開催するなど、委員相互の連携を促進することで、地域福祉の向上を図る。									
	対象者	民生児童委員、単位民生児童委員協議会、民生児童委員連盟、全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.5					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	業務委託：京都ユニオンサービス株式会社 補助金交付：福知山市民生児童委員連盟、各地区民生児童委員協議会									
	事業概要	民生児童委員及び単位民生児童委員協議会、また単位民生児童委員協議会で組織する福知山市民生児童委員連盟の活動支援を行う。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費				
		報償費	民生委員・児童委員活動費				23,755				
		旅費	事務局職員旅費				37				
		需用費	消耗品費(民児協会長手帳他)燃料費(バス軽油代)				248				
		役務費・使用料及び賃借料・委託料	郵送料、高速道路通行料、バス運転代行業務委託料等				155				
負担金補助及び交付金		民生児童委員協議会会長、民生児童委員連盟理事・評議員、民生児童委員協議会活動 他				5,645					
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	27,554	30,861	31,047	33,893	34,213			
	②補正予算			0					
	③流充用額	457	58	△ 157					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
予算と執行の状況	前年度繰越								
	次年度繰越								
	一般財源	11,388	13,393	13,541	16,096	16,239			
	国支出金	0	0	0	0				
	府支出金	16,623	17,467	17,349	17,797	17,974			
	地方債	0	0	0	0				
その他特財	0	0	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	民生委員・児童委員活動費	種類	府補助金	実績金額	15,837	決算付属資料	22	頁
	特財名称	民生委員地域福祉活動促進費	種類	府補助金	実績金額	1,394	決算付属資料	22	頁
人件費	0.63/0	0.66 / 0	0.66 / 0	0.66 / 0					
⑤概算人件費	5,040	5,280	5,280	5,280	5,280				
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	33,051	36,199	36,170	39,173					
⑦執行額	27,976	29,629	29,840						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.9%	95.8%	96.6%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		民生委員・児童委員活動件数	件	37802/30000	38366 /30000	37732 /40000	/	40000	40000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		民生委員・児童委員数	人	268/276	272/276	268/276	/	278	278
		単位あたりコスト		104.4	108.9	111.3			
		単位あたりコスト		/	/	/	/		

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 地域福祉を推進するうえで、中心的役割を担う民生児童委員の活動の必要性は高い。	
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	×	民生児童委員の活動の増大や活動に対する期待が大きい中で、その活動に見合った活動費を支払うよう見直しを行う必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	民生児童委員の活動は地域の見守り訪問活動、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役などの地域福祉活動をはじめ、民生児童委員活動に係る会議や研修会等への出席、市や府等の各種委員会等への出席、証明事務等業務は非常に多岐にわたっている。今以上に民生児童委員に様々な業務を委ねることは困難である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	市（社会福祉課）に福知山市民生児童委員連盟の事務局を置き、各民生児童委員の活動をサポートしている。必要に応じて、理事会や各部会等の会議を開催し、委員と行政との連携を図るとともに、常に行政施策の情報提供や研修会を行うことで、各地区民児協活動の活性化に繋げていただいた。 なり手不足解消に向けた取組については、令和元年度の一斉改選に向けて、各地区民生児童委員協議会、民生児童委員連盟理事会で対策を検討した後、各地区民児協でのアンケートの実施や協議を行い、その結果を受け正副会長会で更に検討を重ねた。 また地域に対しては、平成30年10月開催の秋季自治会長会で改選時期の到来を周知した。		
今後の課題及び方向性	少しでも民生児童委員の負担軽減を行うために、母子家庭奨学金受給等に係る証明事務等を廃止するよう引き続き京都府等に要望していく。 民生児童委員の活動業務が増大するなかで、活動に対する報償費（費用弁償）の増額について検討が必要である。 令和元年度から災害時要配慮者避難支援事業の報償費は同事業に統合し、支払いを一本化している。			

庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	所見
	三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	所見

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	災害ボランティアセンター運営事業												
	会計情報	款	民生費	項	災害救助費	目	災害救助費	会計	一般会計	事業コード	550129	決算付属資料	142	頁
	施策体系	施策コード	050202	施策名	福祉関係団体との連携を強化する									
	開始年度	平成29年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨災害で被災された方々の居住地内の泥出しや家財道具の処分作業などを支援するために開設された福知山市災害ボランティアセンター(社会福祉法人福知山市社会福祉協議会が運営)の運営経費を負担することで、災害ボランティアの活動を円滑に進め、被災された方々の早期の生活復旧を支援する。									
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金の交付)									
	委託先・実施主体等	福知山市災害ボランティアセンター(福知山市社会福祉協議会)									
	事業概要	平成29年1月17日付けで締結した「災害時におけるボランティア活動支援に関する協定書」に基づき、災害ボランティアセンターの運営に要する災害支援活動経費を市が負担する。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	負担金補助及び交付金	災害ボランティア負担金							2,850		
関連事業	災害ボランティアセンター支援事業										

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	-	0	0	0	
	②補正予算	-	527	2,500		
	③流充用額	-		351		
	④繰越額計	-	0	0	0	
前年度繰越						
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	-	527	2,851	0	
	国支出金	-	0	0	0	
	府支出金	-	0	0	0	
	地方債	-	0	0	0	
	その他特財	-	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	/	0.06 / 0	0.17 / 0	0.17 / 0		
⑤概算人件費	-	480	1,360	1,360		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	-	1,007	4,211	1,360		
⑦執行額	-	223	2,850			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	-	42.3%	100.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		活動件数	件	-	6	126	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	ボランティア及びスタッフ登録者数	人	-	75	1293	/	-	
	単位あたりコスト		-	3.0	2.2			
	単位あたりコスト		-	-				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	被災者支援のために迅速な対応が必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	災害ボランティアセンターの運営に必要な物品や機材、車両等の借上げなどについては、社会福祉協議会に委ねている。一刻も早い対応が迫られることから、十分なコスト比較等は行える状況にはない。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	×	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	×	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市と社会福祉協議会が連携し、それぞれの役割を果たすことで、迅速な被災者支援を行うことができ、有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		平成30年7月豪雨災害の復旧に当たり、社会福祉協議会が主導で災害ボランティアセンターの開設運営を行ったことで、いち早くボランティアセンターが立ち上がり、迅速に被災者支援が行えた。 資機材の調達や車両等の借上げ、関係機関へのスタッフ要請を行うとともに、災害ボランティアセンター開設に係る広報周知(社協ホームページやフェイスブック、自治会長、報道機関(新聞)、チラシ配布)などを迅速に行ったことで多くのボランティアにご活動いただくことができ、早期の被災者支援に繋げることができた。 災害ボランティアセンターの運営に当たっては、市は常に災害ボランティアセンター(社会福祉協議会)と情報共有を行い、スタッフ情報共有会議への出席や有料道路の無料券発行業務等に従事した。	
今後の課題及び方向性		今後においても、常日頃から社会福祉協議会と連携を密にし、災害発生時に即座に対応できるよう体制を整えておく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	災害発生時に迅速な対応を行う。 災害発生時のボランティアセンター支援事業のため、当初では予算要求なし。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課									
	作成責任者	大西 健二									
	事業名	災害ボランティア支援事業									
	会計情報	款 消防費	項 消防費	目 災害対策費	会計 一般会計	事業コード 550170	決算付属資料 214	頁			
	施策体系	施策コード 050202	施策名 福祉関係団体との連携を強化する								
	開始年度	平成28年度									
	終了予定年度	令和2年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	-									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	災害時に活躍できる人材の育成や防災意識の向上を図り、災害時の迅速かつ的確なボランティア活動につなげる。									
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	福知山市災害ボランティアセンター									
	事業概要	平常時の災害ボランティアセンターの体制強化のための啓発及び研修、市民サポーターの要請、災害時のセンター立ち上げ運営訓練など									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		旅費	災害ボランティア調整員研修会旅費							7	
負担金補助及び交付金		市民サポーター養成講座、防災講座の開催等に係る補助							175		
関連事業	災害ボランティアセンター運営事業										

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	213	188	183	175	175	
	②補正予算				0		
	③流充用額	465	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0		0	
前年度繰越							
予算と執行の状況	一般財源	678	188	183	175	175	
	国支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他特財	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.03/0	0.03 / 0	0.07 / 0	0.07 / 0			
⑤概算人件費	240	240	560	560			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	918	428	743	735			
⑦執行額	665	180	182				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	98.1%	95.7%	99.5%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		市民サポーター養成人数	人	18 / 20	21 / 20	16/20	/ 20	20
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		市民サポーター養成講座等開催回数	回	3 / 3	1 / 3	4 / 3	/ 3	3
		単位あたりコスト		221.7	180.0	45.5		
		/	/	/	/			
		単位あたりコスト						

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	災害時に活動できる人材を平常時から育成し、防災意識を高めておくことは重要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	災害時のボランティアセンターを設置する社会福祉協議会が主体となっており、非常時にも有効である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	市民の安心・安全を確保するうえで有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成30年7月豪雨災害発生直後に災害ボランティアセンターが立ち上げられ、多くのボランティアスタッフによる被災者支援活動が行われた。市民サポーター養成講座、防災講座等の開催による、市民サポーターの登録者の増加につなげることが出来た。災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練等により、防災に対する市民の意識の醸成・向上につながった。		
今後の課題及び方向性	災害発生時には社協職員を中心として、市民サポーター、民生児童委員連盟、福知山公立大学、赤十字レスキュー、市町村社協連合会、府社協、府災害ボランティアセンター等の協力のもと行われるが、いつ起こるか分からない災害に備え、更に市民サポーターを増加させるとともに市民が災害に対する理解を深め災害に備える体制づくりを強化しておく必要がある。今後においても、災害ボランティアセンター運営事務局である社会福祉法人福知山市社会福祉協議会を中心に市も連携し、広報活動や講座等に取組む。			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、市民サポーターの養成を支援する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充